

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年五月度 入選句 (投稿総数千百五十句・一般投句数五百五十五句)

特選 選者 伊藤 百雲

夏の風邪方程式の解けぬ夢 大垣市 秋山 くに子

夏の風邪は思いの外つらくてえらい。夢に見る程数字の方程式のむつかしさがよく解る、風邪の苦しさ、方程式を解く苦しさを掛け合せた句で意外性もあつて佳句とした。

展望へ目指す少年風光る 大垣市 横井 正明

明るい希望をおぼえる句。季語の「風光る」がよく効いている。「展望へ目指す」が少年であるが故に、よく生きている、読者に感動を与える佳句。

黒板に感謝の二文字花こぶし 不破郡垂井町 久保田 絃義

卒業生が書き残して行ったのだろう、先生に、先輩に、同級生に、友達に、ほのぼのと心に温みを感じる句。教室の窓には辛夷の花が芳香を放つて美しく咲いている情景に、心より嬉しさを感ずる佳句とした。

秀逸

風光る産土神の自噴水 大垣市 坪井 克枝

陽炎や初誕生日一步二歩 大垣市 藤井 美奈子

五月来ぬ森羅万象煌めけり 大垣市 藤井 正勝

ふらここに古稀の余生をゆらしけり 不破郡垂井町 児玉 信子

団欒をたたんで帰る花筵 愛知県尾張旭市 古賀 勇理央

墨俣に一夜城あり花の昼 神奈川県中郡 牧野 眞佐子

ルピナスや少女らの夢果てしなく 大垣市 新町 恵子

山つつじ好天あますところなし 大垣市 神野 武彦

水饅頭売らるる城下夏来たる 大垣市 鈴木 美江子

入選

水底は五月明りやたらひ舟
 やはらかき雨に玉解き白牡丹
 竹の子に故郷の土匂ひけり
 春光に委ねる一日むすびの地
 日脚伸ぶ針の遅れし古時計
 放流のダム轟けり夏に入る
 一村の写る代田や風の道
 筈をもらひ忙しき夕支度
 野遊びや母の丈越す子が走る
 ダイエツト意志翻す花見莫産

安八郡神戸町 高橋 泰
 養老郡養老町 田中 紫香
 大垣市 片山 洋子
 滋賀県彦根市 前川 菅子
 不破郡垂井町 富田 実郎
 大垣市 喜田 守
 大垣市 高木 豊子
 大垣市 安田 直隆
 大垣市 加藤 祐子
 大垣市 横井 明克

入選

ぼうたんや昨夜の雫も紅ほのか
 野遊びや誰か手を振る風の中
 ぼうたんや隣の村の鐘の声
 新緑の流れにまかすたらいぶね
 車椅子枝垂桜を一周す
 夕餉にと山椒摘みたるひと握り
 山笑ふ声の聞こえて来そうな日
 水門川残りざくらのうるわしき
 青田風童の唄をのせてくる
 春一番門に憤怒の仁王尊
 晴天や青葉若葉の匂ひ立ち

三重県津市 野田 紫雲女
 大垣市 鶴田 信子
 安八郡輪之内町 野村 照子
 大垣市 虎澤 信子
 安八郡安八町 旭野 和子
 不破郡垂井町 平墳 房子
 不破郡垂井町 白井 梅乃
 名古屋市瑞穂区 平井 好子
 福井県福井市 三ツ山 しげこ
 不破郡垂井町 江崎 真一
 大垣市 日比野 友子

選者吟

あなうれし十三輛の山車の列

伊藤 百雲